

よい会社を目指すための羅針盤

北極星

大阪府中小企業家同友会
**大阪北ブロック
PRマガジン**
 北摂支部、新大阪支部、
北支部、中之島支部
Vol.07
 2012年10月1日発行
<http://www.osaka.doyu.jp>

特集

経営者の考え方を、交流させる場所。

(株)菊川モーターズ 菊川 昇 代表取締役
 川東社会保険労務士事務所 川東 三江子 社会保険労務士
 しん社労士事務所 かつう ゆき 社会保険労務士

刻まれるのは

経営体験の1ページ

そして社員とともに育つ会社へ

(株)ニコプラネット 石井 伸郎
代表取締役

「人を生かす経営」は困難な時代にこそ輝く

NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワークJSN茨木 事務局長 保坂 幸司



おもしろ経営塾

そして社員とともに育つ会社へ

7月に例会報告をさせて頂いた。私の会社は人材育成や新規営業の課題だらけで、同友会には昨年4月に入会したばかり。「経営指針確立・成文化セミナー」のBコースがやっと終わったところで、例会報告の依頼があった。

今の自分では報告できることはいと断ろうとしたら、「石井さんの会社の経営課題を熱く語ってくれるだけいい。問題提起型の例会でいい！」と説得され、思わず引き受けてしまった(笑)。

しかし、そこが大変だった。報告内容を原稿にまとめようとしても、本当に何が課題なのかわからない。気がつけば不平不満ばかりを綴っていた。何度も原稿を練り直し、何度もリハーサルを繰り返して、なんとか例会報告にこぎつけたのだ。

当日、私が抱く夢や悩みなど、思いのすべてを伝えることができたと思っている。そして、報告に向けて自社の状況や経営課題をあらためて見直すことが、こんなにも自分の勉強になるとは驚いた。

指針セミナー受講の時に感じた、産みの苦しみがここにもあった。

この日は社員全員が

報告を聴きに来て、グループ討論にも参加させていた。その甲斐もあつてか、会社の雰囲気も変わってきたように思う。社員から責任感のある発言が飛び出したり、自主的な行動も増えてきた。そしてなによりも変わったのは経営者である「自分」だ。一人ひとりの力を生かして必ず良い会社にしてみせる！

本当の意味で経営者の覚悟を決めることができたと思う。

また「アドバイスシート」の皆さんからの本音の言葉が心に突き刺さった。今後の経営課題を解決していくための強い味方になった。

本当に宝物だ。この企画は今後も続けて欲しいと思う。

今回、このような機会をいただけたことに本当に感謝している。

そして、3年後も一度報告をさせてもらえたら、その時にはもっと皆さんのお役に立てる成功事例として報告したい。

(文・石井 伸郎)



(株)ニコプラネット 代表取締役
石井 伸郎
 Ishii Nobuo
 広告・カタログの企画制作、ムービー・Webサイトの制作運営、企業・商品のブランディング
<http://nicoplanet.co.jp>

作文講座のススメ【受講者の声】

3大遊郭といえは江戸の吉原 京都の島原 大阪の新町。中でも、新町は徳川幕府が最初に公認したそう。その名残を散策しよう。作文講座講師長谷川信正氏にガイドを依頼し、まち歩きを行った。

新町は、今の四ツ橋駅周辺だ。まずは、四ツ橋跡地の石碑に行った。昔は夕涼みをするために人が集まってくる場所だったそう。石碑前には、もよい風が通り抜け、涼をとることができた。

その後、遊郭の入口である「東の大門」があったといわれる場所を通る。この町がどういった歴史を歩んだか、時代背景を交えながらガイドして

もらい約2時間のコースを歩き終えた。

生まれも育ちも大阪だが、地元のこと何とも知らないという事がよくわかった。地域に根差すとは歴史も語れる必要があるのではないかと考えさせられるま

ち歩きであった。

中之島支部 浅井 勝正

開催日時: 10月4日(木) 18:00開始予定
 会場: 新生紙化工業株式会社
 参加費: 1,500円 詳しくはe.doyuをご覧ください。

編集後記

北極星7号は同友会例会作りを特集にしました。経営指針の成文化、環境保全、地域密着経営を目指して活動する同友会の、軸となる勉強の場が例会です。

よい経営者となるため、よい会社をつくるため、そしてよい経営環境をつくるため、いかに経営課題を克服するかを、仲間とともに勉強し例会で確認しています。会内外の読者に向けて、発信する北極星が経営の羅針盤として更に充実するよう頑張ります。

(西岡 洋子)

【発行元】大阪府中小企業家同友会
 大阪北ブロック広報委員会
 【発行責任者】吉田 俊夫
 【連絡先】大阪府中小企業家同友会 事務局
 TEL 06-6944-1251
 FAX 06-6941-8352

私の羅針盤

「人を生かす経営」は困難な時代にこそ輝く

著書「日本ではいばん大切にしたい会社」で有名な法政大学の坂本教授が同友会主催のシンポジウムで語った言葉。「経営者にとって大切なことは①社員とその家族 ②協力企業の社員とその家族 ③地域の人々 ④顧客、最後に⑤株主。これは、並列ではなく、序列です」という言葉は衝撃的でした。

私は仕事柄(精神障害者の就労支援) たくさんの方の同友会の仲間を支えられています。実習の機会(障害者が仕事を覚えるための訓練をいただいたり、雇用していただいたり)というだけではありません。じつは社会経験の乏しい若い就労支援員(JSNの平均年齢は31歳)を育てていただいているということも大きな恩恵のひとつです。

なんといっても百戦錬磨の同友会経営者ですから、若い職員たちが本物の経営者の人間性に触れ、日常的なやり取りやアドバイスから得られる事々々もとても豊かです。「人を生かす経営」という理念が、地域生活者でもある障害者との出会いによって、企業文化を強くし、さらに豊かな可能性を開いていくことを確信しています。

(文・保坂 幸司)

NPO法人 大阪精神障害者 就労支援ネットワークJSN茨木 事務局長
保坂 幸司
 Hosaka Kouji
 JSNは働きたい気持ちのある精神障害者に対して、就職に向けての訓練を行う事業所です。
www.npojsn.com/06summary/01purpose.html

経営者の考え方を、 交流させる場所。

今回は中小企業家同友会の活動の中心になっている例会について、新大阪支部・加藤例会委員長と北支部・川東例会担当副支部長、そして飛び入りで北支部・菊川支部長にも集まっていたいただきました。司会進行は上船広報委員が担当しました。



▲2支部の例会委員が飛び入りゲストも交え例会について語る

同友会の例会はどのようなものですか？

加藤―よくある講師がするセミナーとは違い、会員が自分の経営体験を報告し、その報告をもとにグループ討論を行います。

川東―現役の経営者の話ですから、とてもリアルな話が聞けます。実際に経営危機をどう乗り越えてきたのか、どうやって成功したのかなど臨場感あふれる話になります。

菊川―また報告者にとっても、自社経営の整理ができ、自分では気付いていなかったことがわかり、経営に生かすことができます。

川東―参加者は、自社と照らし合わせて聞くことで、経営のヒントや問題の解決策を得ることができます。

グループ討論の魅力とは？

加藤―報告内容を受けて討論する中で、経営のヒントや気付きがあります。

川東―本音で話せば、相手も本音で返してくれるので、役に立つ意見や体験を聞くことができます。

加藤―グループ討論では結論を出すのが目的ではなく、他の経営者の考え方を聞くことが大切です。

グループ討論では結論を出すのが目的ではなく、他の経営者の考え方を聞くことが大切です。

経営者同士が仲良くなれる例会、
経営者として一歩前進するきっかけとなる例会です。

とにより自分自身も考え方に新たな視点を見つけることができます。
川東―報告者は話のプロではないのでリハーサルは3〜5回になります。

例会委員のメリットは？

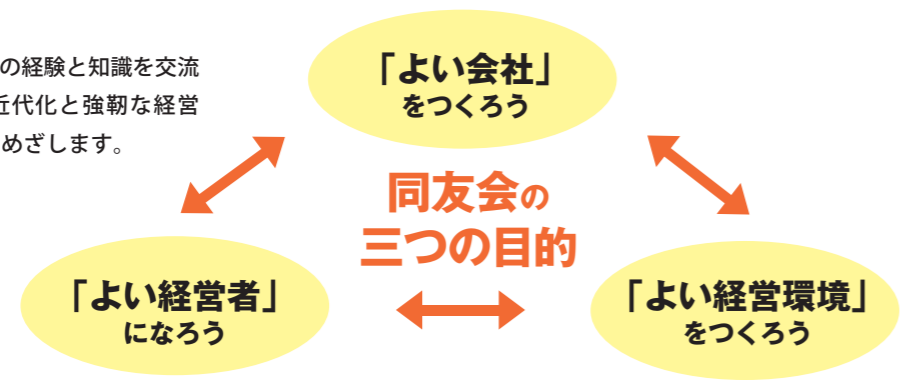
加藤―オフレコの話が聞けることにより、報告者の人柄をよく知ることがができます。

川東―より多くの会員と仲良くなれます。また親しくなることにより、本音で話ができるようになります。

加藤―仲良くなることで、強い人脈づくりができます。また、例会委員長になってからは、人間関係を上手にする方法を学びました。

最後に、よい例会とはどんな例会ですか？

川東―経営者として何かを持ち帰れる例会。例会が終わったあとで、「勉強になった」「気付きがあった」と思える例会。経営者同士が仲良くなれる例会、経営者として一歩前進するきっかけとなる例会です。
加藤―グループ討論で、本音で言いたいことが言い合える例会、経営者として気付きを会社に持ち帰れる



同友会はひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。



しん社労士事務所
社会保険労務士
かとう ゆき
Kathou Yuki
「人と企業を元気にする」社労士事務所。お客様と共に働きやすい職場環境を作っています。
<http://www.office-shin.jp>

る例会、多くの会員と交流できる例会です。
菊川―例会がどれだけよく、勉強が出来ても、結局は自社の経営で実践しないと意味がありません。自社経営に例会の成果を生かして、会社が良くなって初めてよい例会といえると思います。
司会―皆さん、本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。
これで同友会の例会がどのようなものか、ご理解いただけたでしょうか。報告者、例会委員、そして参加する同友会会員が一体となって作り上げるのが例会です。例会に参加するのが会員の義務ではなく、喜びとなるように、会員一人ひとりが高い意識と意欲を持たなければなりません。 (文・杉本 雅城)

第23回
**全大阪中小企業家
経営フォーラム**
2012年
11月22日(木)
14:00開会(13:30受付開始)
会場:シェラトン都ホテル大阪
参加費:7,000円(パーティー費込) 詳しくはe.doyuをご覧ください。

2年に1度の大交流会
**いよいよ
来月開催!!**

全大阪・全国行事のグループ討論では、
普段と違った経営課題の解決策が
出ることもあります。

「みせろ! 中小企業家の底力」
実践力で創れ未来の大坂

いっしょに作る
**取材・撮影・編集
サポーター募集中!**

広報委員では、同友会の活動をより多くの方に知ってもらうために「読んでもらえる広報誌」を作成しています。誌面の企画・企業への取材・編集デザインなどを通して、より経営者の考えなどに生かされる事ができます。プロアマ業種を問わず募集していますので、興味のある方はお近くの広報委員までお声掛けください。

北ブロックグループ討論研修
毎月の例会のグループ討論を、また自社の会議をスムーズにしかも効率よく進めるためのトレーニング「グループ討論研修会」を開催します。
10月15日(月)
日時 18:30~21:00
場所 エルおおさか
詳しくはe.doyuをご覧ください。

川東社会保険労務士事務所
社会保険労務士
川東 三江子
Kawahigashi Mieko
大阪市中央区で社労士事務所を営んでいます。中小企業の人事労務の相談を軸に、働きがいのある企業づくりのお手伝いを目指しています。
<http://www.office-sr.net>

プ長の力量も必要ですが、参加者自身も何か経営に役立つことを持ち帰ろうとする意欲が重要です。
加藤―報告・討論が自社の経営課題とマッチすれば最高ですが、そうでなくても、参加者に問題意識や解決意欲があれば、何かヒントや気付きを持って帰れます。
川東―北支部では今年、報告を短くして、グループ討論の時間を多く取っています。それによって、グ

ループ討論がより活性化しています。
例会リハーサルでは何をしていますか？
川東―まず報告者の会社訪問をし、色々な話を聞いて報告内容を決めていきます。ここではオフレコの話も聞けて、本番の報告より面白いことでもあります。2回目からは、報告の練習、組み立て。ここで、本音を引き出すために、本音をおつけて鋭く突っ込みます。なぜそのような経営判断をしたのか、背景を聞き出すことが大切です。
加藤―リハーサルをすることにより、報告者は自分の経営を見直すことができます。話に突っ込まれることが大切です。
※通常は報告50分・グループ討論50分。今年度北支部では報告35分・グループ討論80分としている。

(株)菊川モータース
代表取締役
菊川 昇
Kikukawa Noboru
北区空中庭園近くの「街の自動車屋さん」です。地域密着で年5回楽しいイベントを行っています。最近はレンタカー業務も始めました。
<http://www.kicars.net>